



2021年2月12日

各 位

会 社 名 株式会社スマートバリュー
代 表 者 名 代表執行役社長 渋谷 順
(コード番号：9417)
問 い 合 わ せ 先 執行役管理部門統括 藤原 孝高
TEL. 06-6227-5577

2021年6月期 第2四半期（累計）連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

2020年8月14日に公表いたしました2021年6月期 第2四半期累計期間（2019年7月1日～2019年12月31日）連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 2021年6月期第2四半期（累計）連結業績予想数値との差異（2020年7月1日～2020年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	1,688	△330	△330	△342	△34.44
実績値（B）	1,399	△381	△378	△280	△28.03
増減額（B-A）	△289	△50	△48	62	
増減率（%）	△13.5	—	—	—	

2. 差異の理由

売上高は、安全運転機器を取扱う、モビリティ・サービスセグメントのカーソリューション分野で、新型コロナウイルス感染症による景気後退の中でユーザー企業の活動自粛が続き、受注件数が伸び悩みました。また、モビリティ・サービスセグメントのテレマティクスサービスをはじめとするIoT分野においても、企業活動における車での移動の減少等の活動自粛の影響を受け、新規受注が低調となりました。他方、デジタルガバメントセグメントにおいては、自治体の一般公募入札において進捗遅れが発生いたしました。以上の結果、前回発表予想値を下回る結果となりました。

営業利益、経常利益は、販売の状況を踏まえて労務費や経費の抑制に努めましたが、売上高の減少の影響を吸収しきれず、前回発表予想値を下回りました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前回発表予想時点では、新型コロナウイルス感染症の影響で先行き不透明感が強く、保守的に税効果会計による影響を見込んでいなかったことから、前回発表予想値を上回る結果となりました。

現時点では、デジタルガバメントセグメントは、政府による経済活動再開に向けた取組みが進められており、経営環境は回復基調に転じていること。モビリティ・サービスセグメントは、モビリティ業界で加速しているDX化の影響から、当社が保有するコネクティッド及びシェアリングプラットフォームの活用を検討いただいている事業者数は増加しております。そのような状況を踏まえ、2021年6月期通期（2020年7月1日～2021年6月30日）の業績予想については、変更しておりません。

(注) 上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後、様々な要因によって上記予想数値と異なる可能性があります。

以上